



美浜町内をデモ行進

原発の新設に抗議するため、関西や福井の人たちが美浜原発や関電原子力事業本部前に30人を超える人たちが集まり抗議集会を行い、その後町内をデモ行進しました。私は

原子力事業本部とデモ行進に参加しました。

原子力事業本部前では、シユーブレヒコールから始まり関電への申し入れ書を読み上げました。そして参加者から次々とアピールがありました。

発言の内多くは、2004年に起きた美浜原発3号機二次系配管蒸気噴出死傷事故後に原子力事業本部正面に掲げられた『「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」の行動のもと、会社を挙げて安全文化を築き上ります。』という言葉にかみつくものでした。

「安全」と「使命」という空虚な言葉を非難するもの

11月10日、美浜原発の新たな原発建設の躊躇に抗議！ 関西、福井より結集

原発の新設に抗議するため、関西や福井の人たちが美浜原発や関電原子力事業本部前に30人を超える人たちが集まり抗議集会を行い、その後町内をデモ行進しました。私は

原子力事業本部とデモ行進に参加しました。

原子力事業本部前では、シユーブレヒコールから始まり関電への申し入れ書を読み上げました。そして参加者から次々とアピールがありました。

発言の内多くは、2004年に起きた美浜原発3号機二次系配管蒸気噴出死傷事故後に原子力事業本部正面に掲げられた『「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」の行動のもと、会社を挙げて安全文化を築き上ります。』という言葉にかみつくものでした。

私は、美浜原発の周辺には活断層が多く存在し危険な場所でした。

私は、美浜原発の周辺には活断層が多く存在し危険な場所でした。

私は、美浜原発の周辺には活断層が多く存在し危険な場所でした。

11月10日、美浜原発の新たな原発建設の躊躇に抗議！ 関西、福井より結集

11月10日、美浜原発の新たな原発建設の躊躇に抗議！ 関西、福井より結集

老朽原発うごかすな！ニュース

第153号

発行・老朽原発うごかすな!
実行委員会

[連絡先] 090-1965-7102



関電はこともあろうに11月5日から、美浜原発の新設に向けた資材を搬入し、10日から地質調査をすると発表しました。

東日本大震災後、原発の新設をするのは関電が始めてです。脆弱な原発の新設は許される

やめろ！地質調査@美浜

ものではありません。活断層が多數あります。わずか4時間の呼びかけにもかかわらず、福井、兵庫、大阪、京都、滋賀から30名が結集しました。高市新政権は、原発と軍備を進め、電力会社、原発関連企業の延命に暴走しています。さらに政府は、原発の地質調

所であることはすでに分かつてるので、調査する意味がない。それにも拘らず調査するのは、安全と思われるデータだけを示し、原発を建設するためのものと発言し、三陸沖で起きた地震ではテレビのニュースで女川原発は異常なしと報じたことに対し、地震が起きたら必ず原発のことを伝えるのは原発が危険なものとの裏返しである。安全といふなら原発をやめるべきとも訴えました。

デモ行進の終点である美浜町役場で、美浜町に対し、「新增設調査を認めるな」や「原発止めて再生可能エネルギーに転換せよ」と訴えました

福井県は今まで原発運転の先頭を走らされ続けてきました。今また、福島第一原発事故後の新・増設の先頭に立たされようとしています。そんな今だからこそ、声をあげることの大切さを強く思います。そんなおこしをすべきと訴えられました。

(福井県若狭町
石地 優)

査から原発建設まで20年間支える、電気料金から支払われる制度（長期脱炭素電源オーナシヨン）を2024年1月から実施し、関電や電力会社は、軒並み原発の再稼動や新設に動き出しています。

高さ3メートルの「反原発」の旗のポールがしなる強風の中、関電の美浜原発ゲート前と関電原子力事業本部前で抗議行動が続きました。

参加した皆さんは「老朽原発うごかすな！」の幟や「反原発」の旗を持ち、体ごと吹き飛ばされそうになる程の強風にも負けず、「関電は原発の新設をやめろ！」「調査は不要、活断層は存在するぞ！」「地震列島に原発建てるな！」と満身の怒りを込めて、関電にシユープレビコール。続いて、



美浜町当局を糾弾する木原さん

11月10日、4号機増設に向けた地質調査が始まるという報道を受け、美浜原発前及び関電原子力事業本部前での抗議行動に関西各地、福井から30名が結集した。

原発増設をやめろ！ボーリング地質調査

やめろ！ボーリング地質調査

建設予定地の美浜原発周辺には多数の活断層が存在し、大地震が起これば、原発はひとまりもありません。東日本大震災や、昨年1月の能登半島地震を教訓とするなら、

これは、どう考えてもエネルギー政策と安全保障政策の境界があいまいになつていて、左としかいいようがない。日本政府は、明らかに潜在的核保有国としての地位を確立しようと考へている。非核三原則の国はどこにいたやら？

建設に向けた地質調査が始まるという報道を受け、美浜原発前及び関電原子力事業本部前での抗議行動に関西各地、福井から30名が結集した。

これは、どう考えてもエネルギー政策と安全保障政策の境

界があいまいになつていて、左としかいいようがない。日本政府は、明らかに潜在的核保有国としての地位を確立しようと考えている。非核三原則の国はどこにいたやら？

11・30 「原発を続けるための乾式貯蔵NO！全国集会@高浜」使用済み核燃料の行き場はないぞ！」にご支援、ご参加をお願いします。

（若狭の原発を考える会
木戸 恵子）

設などあり得ない暴挙です。
福島事故以来帰宅困難地域である浪江町は、原発から20キロといわれていますが、琵琶湖は、美浜原発から30キロ圏のすぐそこにあるではないか！大事故が起これば、関西一円の飲料水が汚染されます。これ以上の原発建設に断固反対する。

地質調査後、2030年頃に建設判断するとし、原発建設には約20年を要するといふ。2050年頃まで原発が主電源だというのか。未来的エネルギーは自然エネルギーに切り替わるのは世界の流れだ。政府は、なぜ原発を守るのか！核燃料サイクルから作り出すプルトニウムは、核爆弾の原材料として世界で認知されていることに起因し、政治と深く結びついている。



原子力事業本部に対し、怒りの抗議行動

てることに注目しよう！
若狭の原発を考える会
小林 正明